高等学校学習指導要領解説数学編第 1 章 1 節 2 (3) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進 (pp.4-5) から

1 以下の文章の空白を埋めよ。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進める・・・際、以下の点に留意して取り組むことが重要である。

- ① () の方法や技術の改善のみを意図するものではなく、() に目指す資質・能力を () ために「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」の視点で、授業改善を進めるものであること。
- ② 各教科等において通常行われている学習活動（言語活動、()・実験、() 的な学習など）の質を向上させることを主眼とするものであること。
- ③ 1 回 1 回の授業で全ての学びが実現されるものではなく、単元や題材など内容や時間のまとまりの中で、学習を見通し () 場面をどこに設定するか、グループなどで () する場面をどこに設定するか、生徒が () 場面と教師が教える場面とをどのように組み立てるかを考え、実現を図っていくものであること。
- ④ 深い学びの鍵として「見方・考え方」を働かせることが重要になること。各教科等の「見方・考え方」は、「どのような () で物事を捉え、どのような考え方で () していくのか」というその教科等ならではの物事を捉える視点や考え方である。各教科等を学ぶ本質的な意義の中核をなすものであり、教科等の学習と () をつなぐものであることから、生徒が学習や人生において「見方・考え方」を自在に働かせることができるようにすることにこそ、教師の () が発揮されることが求められること。
- ⑤ 基礎的・基本的な知識及び技能の () に課題がある場合には、それを身に付けさせるために、生徒の学びを深めたり () を引き出したりといった工夫を重ねながら、確実な習得を図ることを重視すること。

2 内容から解答を導くポイントと考えたことを述べよ。

3 この問題の解答を自己評価し、
気づいたこと、感じたことを述べよ。

■ 5 段階自己評価 ()

■